

宇佐市民図書館 2005.11

郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
http://www.usa-public-library.jp/

今月の表紙

五所平之助自筆俳句色紙「あまぎ嶺の虹に妻呼び妻と見る／五所平之助」

あまぎ嶺の
虹に
妻呼び
妻と見る
五所平之助

- 目次
- ◆今月の表紙・映画監督 五所平之助の俳句色紙③
 - ◆五所平之助『わが青春』より③
 - ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(42)
 - ◆新着郷土資料目録・平成十七(二〇〇五)年十月

4 2 1

五所平之助『わが青春』より
永田書房・1978

「神田鍛冶町の角の乾物屋の勝栗や固くて噛めない」という手まり唄が流行したことがある。この角の乾物屋は私の店のことだと伝えられてはいるが、私の家は鍛冶町ではなく、隣の鍋町なべまちというところにあったのである。鍛冶町とか鍋町とかいう名などは江戸幕府のころに金物屋とか鍛冶屋とか、そんな商売をする家ばかりがここに集まっていたらしい。

家は鍋町の上野寄りの東の方にあつて、三階建ての角店には相違なかった。八間間口で、須田町という電車の交差点から南へ日本橋までの間では、三越呉服店(現在の三越デパート)の次に大きい店構えと言われていた。

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (42)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

おおともえ

おおとも・えんりん
大友円林
(二五一七～一六六九)

府内光西寺八世住職。名定信。学徳高く、大僧都の宣下り、京都常念寺開山林石と相知り、相伴にて帰り、寄食せしむ。寛文九年歿。四十七。

おおとも・さだちか
大友貞親(五代)

寛治二年、頼泰六男に生る。親時の後をうけ、鎮西奉行となる。文永弘安役に父兄と殊勲を樹て、元徳元年、弟貞宗に譲り、剃髪玉山と称し、博多より直翁和尚を招き、蔭山万寿寺を創む。慶長元年、六十四歳

にて歿す。大分郡律院に葬る。贈正四位。

おおとも・さだのり
大友貞載

貞宗数子あり。長氏、泰次、貞載。貞載筑前立花山に居り立花氏を称す。即ち西大友なり。新田義貞と高氏を鎌倉に討つたが、竹下の戦には高氏に降り、高氏と京師に入る時に結城親光伴つて降り、貞載遂に親光に殺さる。
(大典)

おおとも・さだむね
大友貞宗(六代)

親時の子。左近将監、近江守、薙髪して具簡と称す。元弘中、後醍醐天皇船上にあるや、菊池武時少盛貞経らと帰順した。武時が北条英

時と攻むるや貞時却つて英時を援け武時を殺した。然るに官軍六波羅に勝つに及び、罪せらるるを恐れ、ついで英時を殺す。延元元年、尊氏京師を犯し、援を貞宗に請う。貞時大内弘世と之に応じたが、尊氏敗るるや之を勧めて九州に走らした。延文元年、正平十一年、逝く。

おおとも・しゅうてい
大友秀諦

江州阪田郡恩長村一念寺和田秀敵次男。十四歳本山学寮に入り、寮司となり、慶応三年本山護場幹事となる。赤松連城と外教對抗の布教に力む。明治九年、本山執事阿部慧行及小栗栖香頂の紹介で光西寺十九世住職となり、十年大分教校教授。十五年本山教用係となり、教法の布教に力む。やがて光西寺回祿の災に罹りしが、十八年本山を辞し、

帰山。本堂建設に力む。

秀諦二男不讓志を継ぎ寺院は後復興した。
(大塚氏調)

おおとも・せいげん
大友誓元

(一五六四～一六五〇)
僧。府内光西寺六世住職。権大僧都。同時代に上野円寿寺に寛左法院あり。連歌の友にて二人の連竹存す。慶安三年、閏十月、八十六歳で歿す。(大塚氏調)

おおとも・そうりん
大友宗麟
(一五三八～一五八七)

義鑑長子享禄三年生。塩法師丸といひ、後ち義鎮と改む。二階堂艶れにより家を嗣ぎ、正四位左衛門督に叙せらる。天文二十一年、政事條目十九条を発す。此年毛利の軍門

司城を陥る。爾来両軍争奪の地となる。永福二年、肥前龍造寺隆信と戦つて威を示し、同五年二十三歳薙髪休庵宗麟と号し、六年白杵丹生島に徙り世子義統をし豊府を守らしめ、同十一年筑前立花鑑載を討つて之を自刃せしむ。同十二年、龍造寺隆信討ち降し、元龜三年女婿一條康政の為め兵を土佐に出した。天正三年以来ポルトガル船及び明船白杵浦神宮寺浦に來り貿易盛んに行われ、宣教師ザビエル等來航し、孤兒院、病院、教会堂、学林等建設され一時黄金時代を現出した。天正十年、有馬大村二家と使節をローマに派遣して西洋文化を輸入した。天正六年、島津軍と耳川に戦い敗れ、翌年家を義統に譲る。十四年、島津義久大挙して、豊後両筑の地を併せんとす。宗麟敵し難き見、上坂して秀吉に援を乞う。秀吉長曾我部元親、仙石秀久をして援けしむ。然

るに島津義弘は肥後より、家久は日向より並び進んで豊後に入り、元親、秀久、義統の軍を敗る。義統豊府を捨て、宇佐郡龍王城に移る。於是、薩軍府内に入り火を所在に放つて焼く。此年天正十五年五月二十三日、津久見に歿す。年五十八。

おおとも・ちかあき
大友親著(十一代)

氏綱の長子なり。親世、兄氏綱の譲を受く故に実子持直に譲らず兄の子親著に伝う。親著亦幕府に請うて父氏継を歴代にかえた。応永二十五年、親著立つて家を嗣ぐ。従四位下侍従に任ず。二子あり。長を孝親という。暴戻にして驕侈度なし。家臣戸次糸女之を諫め却つて殺さる。親著其騷擾を制せんとして遂に殺せらる。孝親も亦安んぜず、自刃して歿す。時に応永三十三年であった。

世に之を三角畑の変という。

おおとも・ちかたか
大友親賢

大蔵永世の子。尚幼なるに群臣立てて郡司をした。

バックナンバーは、
郷土スペース(雑誌架)に
ファイルしています。
ご希望のかたには、
中央カウンター(そうだん)で
さしあげます。

新着郷土資料目録 平成17(2005)年【10月】

書名／人名／出版社／出版年(月)／請求記号／(備考)

- 津久見市図書館建設基本計画2004／図書館建設施設研究所／1994／A010ツ／(寄贈)
- 子ども文庫・読み聞かせグループ交流会名簿／大分県立図書館企画協力課
／大分県立図書館／2005／A019オ／(寄贈)
- 子どもの読書活動推進研修会 第2回／別府大学司書課程／別府大学／2005／A019ベ／(寄贈)
- おはなしの絵 ー物語と絵解きー／大分県立歴史博物館／2005／A069オ／(寄贈)
- 賀来西遺跡・宮苑井ノ口遺跡／大分県教育庁埋蔵文化財センター／2005／A200.2オ／(寄贈)
- 津久見門前遺跡 瀬戸遺跡 佐伯門前遺跡／大分県教育庁埋蔵文化財センター
／2005／A200.2オ／(寄贈)
- 北友田横穴墓群／大分県教育庁埋蔵文化財センター／2003／A200.2オ／(寄贈)
- 坂手隈横穴墓・坂手隈城跡／大分県教育庁埋蔵文化財センター／2005／A200.2オ／(寄贈)
- 古代朝鮮文化を考える 第20号／大分県の中の古代朝鮮文化を考える会／2005／A203オ／(寄贈)
- 蒲江町史／蒲江町史編さん委員会／蒲江町／2005／A258カ／(寄贈)
- 霞ヶ関・大分県人国記／藤内悟／大分合同新聞社／1991／A280ト／(寄贈)
- 合併市町村 あのまち このまち 2005 東日本編／日本広報協会／2005／A318カ／(寄贈)
- 合併市町村 あのまち このまち 2005 西日本編／日本広報協会／2005／A318カ／(寄贈)
- 職場体験学習報告書 2005年3年生／宇佐市立西部中学校／2005／A375セ／(寄贈)
- 戦後60年 いま、語り継ぐとき／宇佐市立駅館小学校／2005／A375ヤ／(寄贈)
- 建築士大分 2005・4 No.93／大分県建築士会／2005・3／A520オ／(寄贈)
- 建築士大分 2005・9 No.94／大分県建築士会／2005・9／A520オ／(寄贈)
- BUNGO食べ歩きBOOK／おおいたインフォメーションハウス／2005／A673オ／(購入)
- 九州高等学校野球大会史／日本高等学校野球連盟九州支部／1965／A781ニ／(寄贈)
- 昭和文学研究 第51集／昭和文学会編集委員会／昭和文学会／2005.9／A905Y05／(寄贈)
- たてがみ靡け 遺歌集／笹原義介／豊後高田：笹原トミ子／2003／A911.1サ／(寄贈)
- 大東亜戦争肯定論／林房雄／夏目書房／2001／A914ハ／(寄贈)
- 豆腐屋の四季1冬の章／松下竜一／リブリオ出版／2005／A914マ／(購入)
- 豆腐屋の四季2春の章／松下竜一／リブリオ出版／2005／A914マ／(購入)
- 豆腐屋の四季3夏の章／松下竜一／リブリオ出版／2005／A914マ／(購入)
- 豆腐屋の四季4秋の章／松下竜一／リブリオ出版／2005／A914マ／(購入)
- 断層の青春譜／大分県中等学校動員学徒の追想をつづる会／2005／A916オ／(寄贈)
- 興安嶺のふもとから／杉目昇／別府：杉目昇／2005／A916ス／(寄贈)